

市民健診 耳寄り情報

令和8年度から胃がん検診に内視鏡検査を導入します

胃内視鏡検査って?

細いカメラ(内視鏡)を口または鼻から入れて、胃の内部を直接観察し、がんやポリープなどの異常がないかを詳しく調べる検査です。

胃透視検査(バリウム検査)と比較すると、色の変化やわずかな粘膜の隆起・へこみなどを認識できるため、胃がんの早期発見につながります。

なぜ、胃内視鏡検査を導入するの?

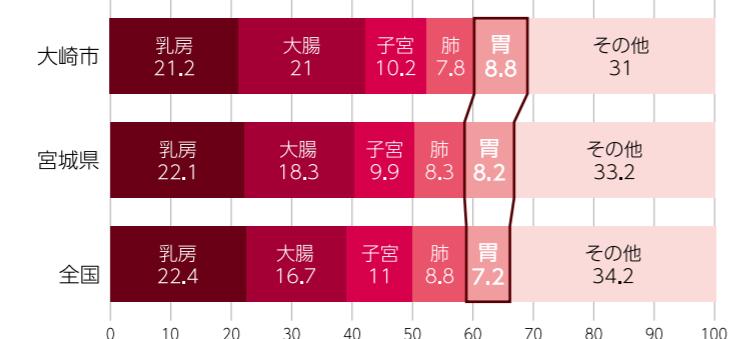
本市では、全国や県と比較して、男女共に胃がんの発生割合が高い傾向にあります(図)。胃がんは早期に発見できれば、体への負担が少ない治療で治る可能性が高い病気です。胃がんによる死者を少しでも減らすために、バリウム検査に比べて発見率が高い胃内視鏡検査を導入します。



[図] 令和3年度がんの発生割合(男性) (単位:%)



令和3年度がんの発生割合(女性) (単位:%)



出典:宮城県立がんセンター独自集計を基に作成

*掲載の数値は表示桁数未満で四捨五入しているため、内訳の合計が100パーセントにならない場合があります。

将来の自分の健康を見据えて、胃内視鏡検査の受診を!

病気は、早期発見・早期治療が何よりも大切です。将来にわたり健康的な暮らしを送るために、検査を受けてみませんか。市や実施医療機関への申し込み方法など、詳しくは市ウェブサイトを確認してください。

実施期間 5月1日金～7月31日金

場所 実施医療機関

対象者 60・62・64・66・68歳の市民(令和9年3月31日時点)

自己負担額 5,000円



申し込みから検診までの流れ

①市へ申し込み(オンラインのみ) ▶ 2月16日(月)9時～3月13日(金)16時

③実施医療機関に申し込み ▶ 4月13日(月)～5月29日(金)

②市から受診票などを送付 ▶

*バリウム検査と胃内視鏡検査の両方を申し込んだ場合は、胃内視鏡検査を優先して受け付けます。

調子はどう? 体の声を聞くおおさき市民健診

問 健康推進課健康増進担当 ☎23-2215
各総合支所市民福祉課



令和8年度おおさき市民健診の申し込みが始まります。1年に1回健診を受けて体の声を聞き、自分の健康状態を把握しませんか。

全世帯の世帯主宛てに、市民健診のお知らせと申込書(はがき)を1月下旬から2月上旬にかけて郵送します。内容を確認し、忘れずに申し込みましょう。なお、市民健診を受けない場合でも、申込書(はがき)またはオンラインで理由を明記して提出してください。

申し込み方法は2通り -「オンライン」がおすすめです-

その1 オンラインでの申し込み

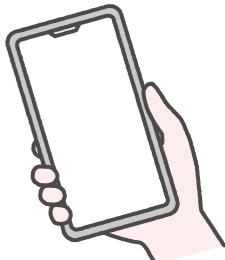
申込期間 1月29日(木)15時～3月6日(金)17時15分

申込期間内に、該当する二次元コードをスマートフォンで読み取り、申し込みください。

LINEアプリを使用している人はこちら



LINEアプリを使用していない人はこちら



LINE申し込みの3つのメリット

- ①24時間いつでもどこでも申し込み・変更が可能
- ②申し込み内容の確認ができ、忘れてしまっても大丈夫
- ③健診日が近づいたらLINEでお知らせが届く

オンライン申し込みをサポートします……

オンラインでの申し込みに不安がある人のため、「フラッといしかいサロン(18ページ参照)内で、申し込みをお手伝いします。ぜひ活用してください。

日時 2月14日(土) 13時～15時

場所 図書館(来楽里ホール)エントランスホール

持ち物 スマートフォン



その2 申込書(はがき)での申し込み

申込期間 2月20日(金)まで

届いた申込書(はがき)に必要事項を明記し、郵送してください。

市民健診の申込者には5～6月ごろに受診票などを個人宛てに送付します。期限を過ぎても申し込みは受け付けますが、受診票などの発送が遅れる場合があります。

健診日程に変更が生じた場合は、広報おおさきや市ウェブサイトでお知らせします。